医療関係者用

ビムパットを服用されている方へ

監修
兼子 直 先生
医療法人清照会湊病院 名誉院長
北東北てんかんセンター長
弘前大学名誉教授

ビムパットの服用方法

監修
兼子 直 先生
医療法人清照会湊病院 名誉院長／北東北てんかんセンター長／弘前大学名誉教授

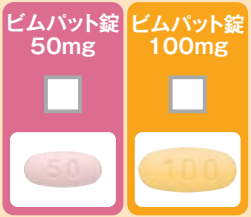
お薬に慣れるため少しずつお薬の量を調整していきます。

- ビムパットの服用は、お薬に慣れるため少しずつお薬の量を調整していく期間（調整期）と、症状がコントロールできたところで、そのお薬の量をそのまま維持して服用する期間（維持期）に分けられます。
- お薬の量やお薬を調整する期間は服用される方の状態によって主治医が決定しますので、指示に従って決められた量を服用してください。
- ご自身の判断でお薬の量を増やしたり、減らしたりしないでください。
- 発作が長期間抑制され、脳波も正常化した場合には、お薬の量を少なくできることもあります。

調整期
お薬の量を調整する期間

維持期
お薬の量をそのまま維持する期間

処方されたお薬
ビムパットの写真



【＿＿月＿＿日～＿＿月＿＿日まで服用するビムパットの量】

1回目（　　）		2回目（　　）	
50mg	錠	50mg	錠
100mg	錠	100mg	錠

【＿＿月＿＿日～＿＿月＿＿日まで服用するビムパットの量】

1回目（　　）		2回目（　　）	
50mg	錠	50mg	錠
100mg	錠	100mg	錠

服用中にご注意いただきたいこと

服用中には、「めまい」「眠気」「頭痛」「吐き気・嘔吐」などが起こることがあります。

- 特にめまい、眠気は服用しはじめやお薬を増やした後にみられやすいですが、服用を続けることで次第に慣れていくことがあります。
- 副作用があらわれてもご自身の判断でお薬の服用をやめないでください。
- 気になる症状があらわれた場合は、主治医や薬剤師に相談してください。
- ふわふわしためまい、目がかすむ、眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあります。そのため、自動車の運転など危険を伴う機械の操作などは行わないようにしてください。

飲み忘れにご注意を

次のような工夫で飲み忘れを防ぎましょう

- 時計や携帯電話(スマートフォン)のアラームをセットする。
- 冷蔵庫など家の中の目立つ場所にメモを貼る。
- ピルボックスやお薬カレンダーなどに1日分もしくは1週間分のお薬を入れておく。
- カレンダーや手帳にしるしを付けて服用状況を記録する。

第一三共株式会社
ユーシービージャパン株式会社

第一三共株式会社

ユーシービージャパン株式会社

2023年1月改訂
P201911-010-00
JP-P-VI-EPOS-2300247